



HEIWA PAPER



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月10日

上場会社名 平和紙業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9929 URL <https://www.heiwapaper.co.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）清家 義雄
 問合せ先責任者 （役職名）取締役管理統括本部長 （氏名）田口 雅史 TEL 03-3206-8501
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	3,929	5.5	△0	—	48	634.7	22	—
2026年3月期第1四半期	3,723	△1.2	△23	—	6	△80.7	△9	—

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 261百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 14百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	2.43	—
2026年3月期第1四半期	△1.03	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	17,785	10,452	58.8
2026年3月期	17,774	10,246	57.6

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 10,452百万円 2026年3月期 10,246百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		6.00	—	6.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	16,400	3.8	157	57.9	222	51.9	155	97.1	16.75

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	10,116,917株	2026年3月期	10,116,917株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	865,895株	2026年3月期	865,895株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	9,251,022株	2026年3月期1Q	9,459,522株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果による緩やかな回復が続きました。一方で、米国の通商政策をはじめとする海外経済の動向、中東情勢等の地政学的リスク、物価上昇が個人消費に及ぼす影響に加え、金融資本市場の変動等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

紙パルプ業界におきましては、印刷・情報用紙における構造的な需要縮減が継続するなか、物価上昇等による需要停滞の影響もあり、紙・板紙の国内出荷量は前年同四半期を下回るなど、厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中で、当社グループは、2026年度の経営方針「日々確実な成長を実現する」のもと、既存領域の再検証・再構築による収益基盤の強化と、需要拡大が見込まれる新分野への展開を推進してまいりました。また、中期経営計画（2026年度～2028年度）の達成に向け、主力である高付加価値特殊紙の開発・提案・販売強化によるシェア拡大、紙素材の環境優位性を活かしたサステナブル商材の開発、新規需要の開拓に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高39億29百万円（前年同四半期比5.5%増）、経常利益48百万円（前年同四半期比634.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失9百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりです。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去前となっております。詳細は、P10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」をご覧ください。

<和洋紙卸売業>

和洋紙卸売業は、情報伝達媒体のデジタルシフトに起因する需要減少が継続する商業印刷物用途の販売は低調に推移したものの、技術紙・機能紙分野、高級パッケージ用途での販売が堅調に推移しました。海外向け販売においても米国による相互関税の影響で一時低下した需要がアジア各地域で緩やかな回復基調にあり、販売は前年と比べ堅調に推移しました。この結果、売上高は40億70百万円（前年同四半期比5.2%増）、営業利益は0百万円（前年同四半期は営業損失26百万円）となりました。

<不動産賃貸業>

不動産の売買、賃貸借、管理及び仲介で構成される不動産賃貸業は、大阪事務所ビル（HSK南船場ビル）の賃貸オフィス部分および名古屋地区における賃貸用住戸の賃料発生により、売上高は12百万円（前年同四半期比85.7%増）となりました。一方、これらの物件に係る委託手数料等の初期費用が発生したことにより、営業損失は1百万円（前年同四半期は営業利益2百万円）となりました。

（参考）

当社単体の和洋紙卸売業の営業成績

品目別	前第1四半期累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）		当第1四半期累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）		増減率（％）
	金額（百万円）	構成比（％）	金額（百万円）	構成比（％）	
ファンシーペーパー	819	23.2	846	22.8	3.3
ファインボード	429	12.1	484	13.1	12.8
高級印刷紙	856	24.2	843	22.7	△1.6
ベーシックペーパー	882	25.0	893	24.1	1.3
技術紙	514	14.5	600	16.2	16.8
その他	33	1.0	41	1.1	24.7
合計	3,535	100.0	3,710	100.0	4.9

〔ファンシーペーパー〕

多様な色、表面性、風合いを持つ高付加価値特殊紙のファンシーペーパーは、出版物および紙製品用途が堅調に推移し、売上高は8億46百万円、前年同四半期比3.3%の増加となりました。

〔ファインボード〕

ファンシーペーパーの厚物（板紙）であるファインボードは、健康食品・化粧品等の高級パッケージ用途が増加し、売上高は4億84百万円、前年同四半期比12.8%の増加となりました。

〔高級印刷紙〕

独自の風合いを持ち、通常の印刷用紙より高価格帯の高級印刷紙は、商業印刷物および海外向けが堅調に推移したものの、映像・音楽関連用途が伸び悩み、売上高は8億43百万円、前年同四半期比1.6%の減少となりました。

〔ベーシックペーパー〕

上質紙、塗工紙、色上質紙等の印刷用紙、包装用紙、各種パッケージ向け板紙等で構成されるベーシックペーパーは、商業印刷物用途が伸び悩んだものの、封筒等の紙製品やパッケージ用途が堅調に推移し、売上高は8億93百万円、前年同四半期比1.3%の増加となりました。

〔技術紙〕

通常の紙にはない特殊機能が付与されている技術紙は、耐水撥水性機能紙および合成紙に加え、偽造防止用紙の販売が増加したことにより、売上高は6億円、前年同四半期比16.8%の増加となりました。

〔その他〕

家庭紙、紙加工品、製紙関連資材等で構成される当区分では、家庭紙の販売が堅調に推移し、売上高は41百万円、前年同四半期比24.7%の増加となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて10百万円増加して、177億85百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金2億51百万円、電子記録債権1億55百万円が減少したものの、商品1億30百万円、投資有価証券3億40百万円が増加したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて1億95百万円減少して、73億32百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債1億27百万円が増加したものの、支払手形及び買掛金1億27百万円、未払法人税等54百万円、賞与引当金98百万円が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて2億6百万円増加して、104億52百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金2億32百万円が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2026年5月13日の「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2027年3月期の連結業績につきましては、以下のとおり見込んでおります。

売上高	16,400百万円（前期比	3.8%増収）
営業利益	157百万円（同	57.9%増益）
経常利益	222百万円（同	51.9%増益）
親会社株主に帰属する当期純利益	155百万円（同	97.1%増益）

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,224,226	2,137,530
受取手形及び売掛金	2,715,518	2,464,033
電子記録債権	1,924,791	1,769,344
商品	3,685,903	3,816,358
貯蔵品	48,817	48,814
その他	93,951	124,138
貸倒引当金	△493	△764
流動資産合計	10,692,713	10,359,455
固定資産		
有形固定資産	2,910,206	2,936,008
無形固定資産	42,937	40,482
投資その他の資産		
投資有価証券	3,710,363	4,051,214
その他	419,690	399,084
貸倒引当金	△1,450	△1,199
投資その他の資産合計	4,128,603	4,449,098
固定資産合計	7,081,747	7,425,589
資産合計	17,774,460	17,785,045

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,933,966	3,806,439
電子記録債務	334,023	303,874
短期借入金	1,722,477	1,689,615
未払法人税等	58,795	4,535
賞与引当金	125,889	27,487
その他	337,675	269,603
流動負債合計	6,512,827	6,101,555
固定負債		
退職給付に係る負債	266,279	265,448
資産除去債務	74,151	74,236
繰延税金負債	620,005	747,897
その他	54,528	143,117
固定負債合計	1,014,963	1,230,699
負債合計	7,527,791	7,332,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,107,843	2,107,843
資本剰余金	2,331,387	2,331,387
利益剰余金	4,596,582	4,563,631
自己株式	△386,546	△386,546
株主資本合計	8,649,267	8,616,317
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,395,150	1,627,794
為替換算調整勘定	202,250	208,678
その他の包括利益累計額合計	1,597,401	1,836,473
純資産合計	10,246,669	10,452,790
負債純資産合計	17,774,460	17,785,045

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	3,723,156	3,929,601
売上原価	2,941,635	3,139,344
売上総利益	781,520	790,257
販売費及び一般管理費	805,151	790,712
営業損失（△）	△23,630	△454
営業外収益		
受取利息	613	606
受取配当金	37,940	49,132
為替差益	—	1,524
その他	2,935	6,522
営業外収益合計	41,489	57,785
営業外費用		
支払利息	6,583	7,131
為替差損	3,345	—
売上割引	1,293	1,440
営業外費用合計	11,221	8,572
経常利益	6,636	48,758
税金等調整前四半期純利益	6,636	48,758
法人税、住民税及び事業税	2,391	3,175
法人税等調整額	14,065	23,027
法人税等合計	16,457	26,203
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△9,820	22,555
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△9,820	22,555

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△9,820	22,555
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,098	232,643
為替換算調整勘定	△19,438	6,428
その他の包括利益合計	24,660	239,071
四半期包括利益	14,839	261,627
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,839	261,627

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
減価償却費	41,817千円	51,172千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 （注）1	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）2
	和洋紙卸売業	不動産賃貸業	合計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,720,624	—	3,720,624	—	3,720,624
その他の収益	—	2,532	2,532	—	2,532
外部顧客への売上高	3,720,624	2,532	3,723,156	—	3,723,156
セグメント間の内部売上高又は振替高	150,328	4,432	154,761	△154,761	—
計	3,870,952	6,964	3,877,917	△154,761	3,723,156
セグメント利益又は損失 （△）	△26,527	2,241	△24,285	654	△23,630

（注）1. セグメント利益又は損失の調整額654千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 （注）1	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）2
	和洋紙卸売業	不動産賃貸業	合計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,921,953	—	3,921,953	—	3,921,953
その他の収益	—	7,648	7,648	—	7,648
外部顧客への売上高	3,921,953	7,648	3,929,601	—	3,929,601
セグメント間の内部売上高又は振替高	148,411	5,286	153,697	△153,697	—
計	4,070,364	12,934	4,083,299	△153,697	3,929,601
セグメント利益又は損失 （△）	910	△1,949	△1,039	584	△454

（注）1. セグメント利益又は損失の調整額584千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。